

第69期
Hirata Report

2019年4月1日～2020年3月31日

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第69期（2019年4月1日～2020年3月31日）の事業概況を以下のとおり、ご報告させていただきます。

当連結会計年度における当社グループを取り巻く経済情勢は、米国では、良好な雇用・所得環境を背景に個人消費は底堅く推移したものの、通商政策を巡る不確実性の高まりから外需や設備投資が弱含み、景気は減速傾向となりました。欧州でも、自動車関連を中心に製造業の低迷が長期化する中、企業の投資マインドが低下し、景気回復が鈍化しました。中国では、米中貿易摩擦の影響で設備投資が伸び悩み、個人消費も落ち込みました。また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、世界的に景気の下押しリスクが強まりました。国内経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に設備投資や個人消費は緩やかに回復しましたが、世界経済の減速などの影響を受け輸出や生産が弱含んだことにより、総じて景気は横ばいで推移しました。一方、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題などに加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動への影響が懸念されており、景気の先行きは不透明感を強めております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、成長市場・分野における事業拡大に向けて、グループ各社と連携しながら積極的な営業活動を展開し、内製化の拡大やグローバルな生産体制の整備など、コスト競争力の強化に全力で取り組んでまいりましたが、世界経済の減速を背景に主に海外顧客の設備投資に対する抑制の動きが強まったことで、売上高は前期を下回る水準で推移しました。

この結果、当連結会計年度における売上高は656億12百万円（前期比15.1%減）となり、営業利益は27億36百万円（前期比56.2%減）、経常利益は28億61百万円（前期比54.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は17億44百万円（前期比62.4%減）となりました。なお、当期の配当につきましては、1株当たり40円の配当を実施いたします。

代表取締役社長 平田 雄一郎

通期業績の見込みについて

2021年3月期の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続いており、感染防止に伴う人やモノの移動制限によって、消費の冷え込みや設備投資の停滞など、国内外の経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。このような状況のもと、当社グループにおきましては、顧客、取引先、従業員の安全を最優先に考え、テレワークの導入など、新型コロナウイルスの感染防止に十分な注意を払いながら、スピーディなグローバル対応、現地対応に加え、既存顧客との関係維持・深耕、新規顧客獲得のための技術提案力、価格競争力の向上など、グループ一丸となって取り組んでまいります。

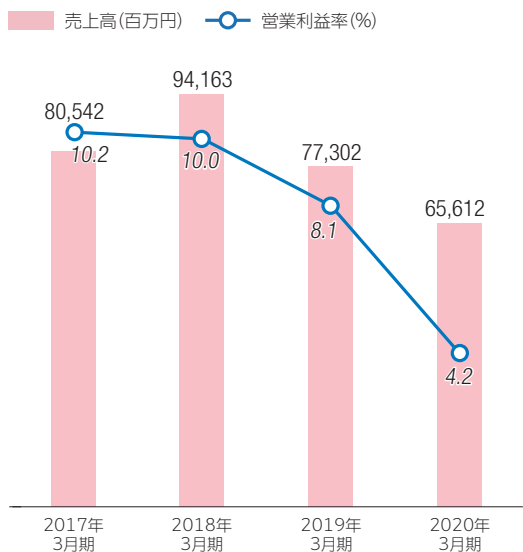
2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの収束時期の見通しが立っておらず、顧客の設備投資の動向が不透明な状況の中、現時点で合理的な業績予想の算定は困難であることから未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、合理的な予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、一層のご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

■ 2020年3月期 連結累計実績と 2021年3月期 連結業績予想

項目	2020年3月期 連結累計実績	2021年3月期 連結業績予想
売上高	656億円	未定
営業利益	27億円	
経常利益	28億円	
親会社株主に帰属する 当期純利益	17億円	
1株当たり 当期純利益	168.15円	
1株当たり配当金	40.00円	

■ 売上高・営業利益率推移



TOPICS

当社の新社屋が完成し、6月5日に竣工式が執り行われました。詳細については、第70期第2四半期の株主通信 [Hirata Report] にてお知らせする予定です。

商品紹介 エコ電動シリーズ ～人と環境に優しいHirataの搬送システム～

自然環境保護の観点で、世界の多くのお客さまから生産設備の電動化（エアレス化）のニーズが高まっています。当社のエコ電動シリーズは、このニーズに応えるべく、コンベヤをDC化したり、コンベヤ周辺の機器を、これまで主流だったエア式から電動式に置き換えることで、工場トータルでの省エネ化と、安全性向上※を同時に実現しました。

※低推力制御機能の搭載による効果

Concept

1. 省エネ

電動式のエネルギー有効効率は75%。
エア式の14%と比べて圧倒的なエネルギー効率によりCO₂排出を削減

2. 安全

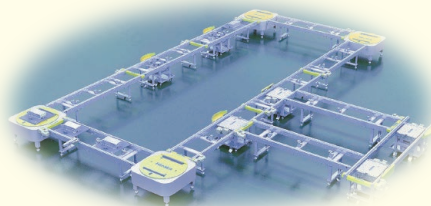
低推力（約75N以下）で停止するため安全。安全柵が不要。
DC24Vのため、感電リスクも低減

3. コントローラーレス

コントローラーやプログラム設定機が不要。24V電源だけで駆動するため、配線もシンプルに。誰でも簡単に使用可能

エコ電動シリーズの商品ラインナップ

上記を共通コンセプトとして開発した下記ラインナップを組み合わせることにより、ライン全体での省エネ/安全を実現しています。



BLUE MOTOR
inside

当社の商品開発部で開発したBlue Motor※を内蔵することにより、製品の小型化と安全性向上を実現しています。

※DC24VのブラシレスDCモーター

当社は今後もバリエーションを増やし、魅力ある商品を提供できるよう尽力します。

電動ストッパー



販売実績12,000台以上で信頼性高

電動シリンダー



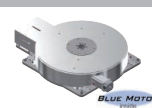
エアシリンダーライクで使い勝手が良いアクチュエーター

電動スライダ



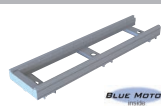
スライダタイプの高剛性アクチュエーター

電動ターンユニット



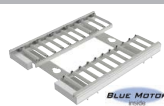
電動シリンダーを応用したターンテーブルアクチュエーター

電動コンベヤ



フリクションコンベヤをBlue Motorで省エネ化

電動ローラーコンベヤ



専用パレット不要の省エネローラーコンベヤ

電動トラバサ



人・物の接触を検出して安全停止するトラバサ

電動リフター



低推力機能を搭載した省エネ昇降リフター

Hirata
初!

製品紹介 柔軟な作業姿勢が可能な6軸垂直多関節ロボットを開発

製造業界では、労働人口減少や人件費高騰の問題解決のため、生産設備の自動化率向上が期待されています。当社では、組立ラインへのワーク*投入など人手に頼っていた作業を自動化するために、高い自由度を有する6軸垂直多関節ロボットAR-Vを開発しました。これまで他社製品に頼らざるを得なかった分野でも、当社の生産システム受注拡大に貢献します。以下にて、ロボットの構成や特長、応用例などをご紹介します。

*ワーク：仕掛品や部品など加工対象物のこと

用途：①組立ラインへのワーク投入
②シール材塗布
③加工品のバリ取り など

【特長】

1. 多様な姿勢の作業に対応

AR-Vは6つの回転軸の組み合わせ動作で、先端部を柔軟な姿勢で広範囲に移動できます。スカラロボットのように上からだけでなく、横や斜めからの作業が可能になりました。

2. 他社に比べ1ランク上の剛性

関節部に大型で高精度のパーツを使ったことで、動かしてもブレない、重いものを持たせてもたわまない、高い剛性を実現しました。

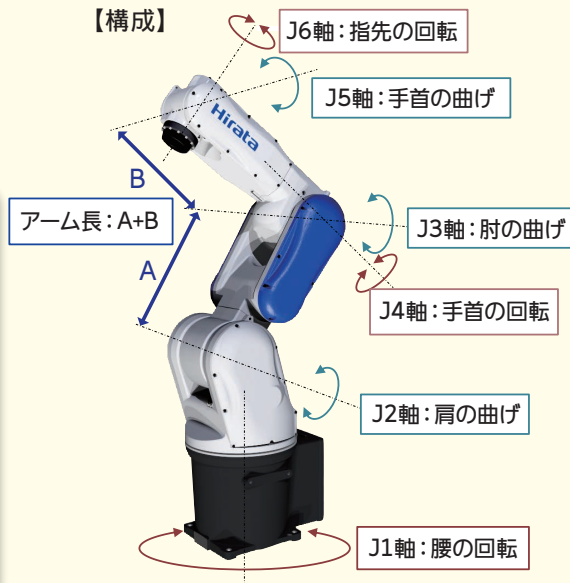
3. 設計/立ち上げ支援ツールを充実

別途開発中のシミュレーターは、オフライン・ティーチングや動作検証が可能で、実機のない設計段階でも品質確保に大きく貢献します。

4. 現行Hirataロボットと共通操作

現行ロボットと同様に、当社HNCとティーチングペンダントを使って容易に操作できます。

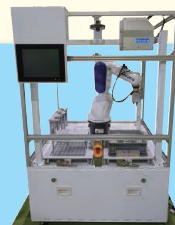
【構成】



AR-V □ H (□:アーム長 700,950,1200mm)
AとBを変更することによってアーム長の調節が可能。
可搬質量は最大6kg

応用例の紹介 — バラ積みピッキング装置 —

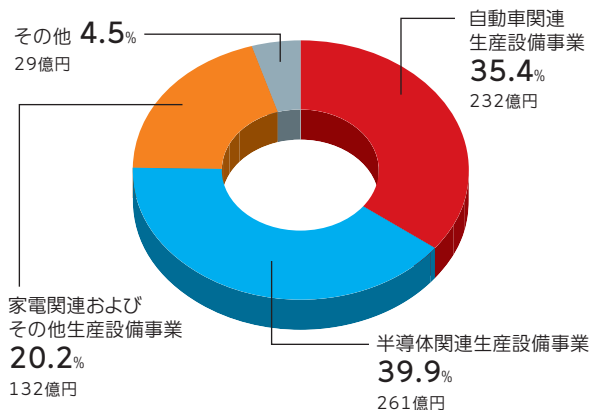
バラ積みピッキング装置は、ランダムに積まれたワークを全自動でピッキング、配膳します。ロボットの目となる3Dビジョンと、自由度の高い垂直多関節ロボットを組み合わせることにより、複雑で人でなければ困難であった作業の自動化が初めて可能になりました。



事業部門別概況

当期売上高内訳

(2019年4月1日～2020年3月31日)



売上高

656 億円

受注高

714 億円

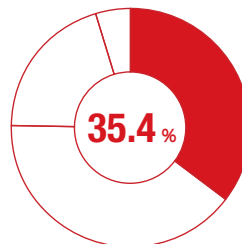
受注残高

353 億円

当期の売上高の事業部門別構成比は、自動車関連が232億円で全体の35.4%、半導体関連が261億円で39.9%、家電関連およびその他が132億円で20.2%となっております。中国をはじめとする世界的な景気減速や、米中貿易摩擦を背景とした顧客の設備投資意欲の抑制など、受注環境の変動により、自動車関連などの売上高が、前年同期を下回る水準で推移し、減収減益となりました。

自動車関連生産設備事業

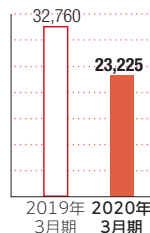
エンジン、トランスミッションなどの自動車の駆動系主要部品や電気自動車(EV)をはじめ、制御用電子機器、車載用電子部品などの組立設備の製造・販売



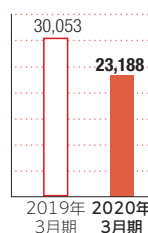
売上高 **232** 億円

対前期比
増減率 **▲29.1%**

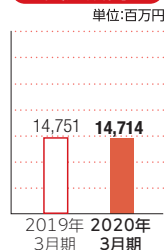
売上高



受注高

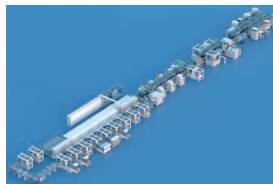


受注残高

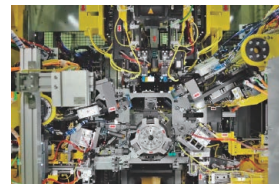


第69期実績

自動車関連生産設備は、自動車の電動化に伴う電子部品の需要拡大を背景に国内の自動車部品メーカー向け案件の売上高が堅調に推移しましたが、北米や欧州の完成車メーカーで設備投資への慎重姿勢が強まったことで、売上高は低調に推移しました結果、売上高は前期比29.1%減の232億25百万円となりました。



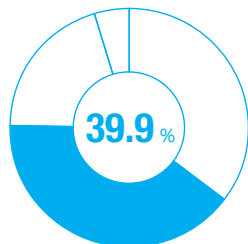
電気自動車用IGBT組立ライン



エンジンテスト機

半導体関連生産設備事業

ロードポート、ウェーハ搬送ロボットなどの半導体関連生産設備、有機EL関連生産設備、FPD関連生産設備などの製造・販売



売上高 **261** 億円

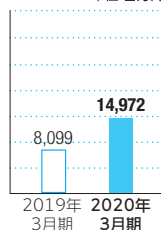
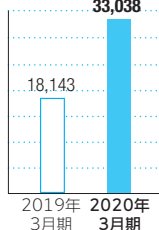
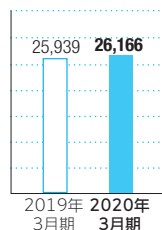
対前期比
増減率 **+0.9%**

売上高

受注高

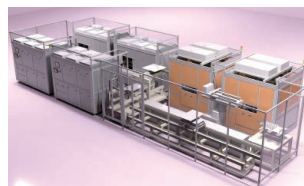
受注残高

単位:百万円



第69期実績

半導体関連生産設備は、中国を中心に液晶パネル関連への設備投資が一巡した影響から液晶パネル関連生産設備の売上高が弱含んだものの、第5世代移动通信システム(5G)の実用化に向けた需要増などを背景にシリコンウェーハ搬送設備案件は堅調に推移しました。また、有機EL関連の需要が中国や韓国で回復したことで有機EL蒸着装置案件の売上高は前期を上回る水準で推移しました結果、売上高は前期比0.9%増の261億66百万円となりました。



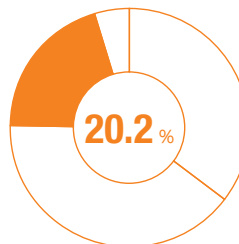
中型パネル対応塗布粘着装置



有機EL蒸着装置

家電関連およびその他生産設備事業

家電関連分野では、テレビ、掃除機などの自動組立設備、その他生産設備分野では、タイヤ生産設備、自動倉庫システムなどを製造・販売



売上高 **132** 億円

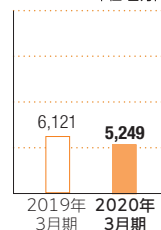
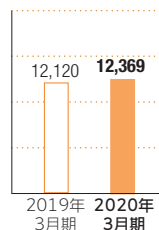
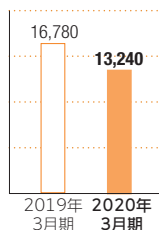
対前期比
増減率 **▲21.1%**

売上高

受注高

受注残高

単位:百万円



第69期実績

家電関連およびその他生産設備は、タイヤ関連生産設備は堅調に推移したものの、白物家電関連の設備投資が一服したことで売上高は低調に推移しました結果、売上高は前期比21.1%減の132億40百万円となりました。



全自動連続薄切装置
ティシュー・テックススマートセクション
(サクラファインテックジャパン株式会社)



樹脂成型機ライン

連結財務諸表 (要約)

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
【資産の部】		
流動資産	64,321	57,792
現金及び預金	11,337	10,972
受取手形及び売掛金	37,978	31,533
電子記録債権	5,984	6,541
たな卸資産	7,752	7,591
その他	1,269	1,157
貸倒引当金	△ 1	△ 3
固定資産	26,252	27,617
有形固定資産	20,336	21,737
建物及び構築物(純額)	7,007	6,800
土地	9,747	9,790
建設仮勘定	1,390	3,168
その他	2,192	1,977
無形固定資産	676	533
投資その他の資産	5,238	5,346
投資有価証券	2,127	1,944
破産更生債権等	36	37
退職給付に係る資産	1,463	1,999
繰延税金資産	1,093	1,005
その他	857	590
貸倒引当金	△ 339	△ 231
資産合計	90,573	85,409

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
【負債の部】		
流動負債	36,718	28,831
支払手形及び買掛金	6,841	5,993
電子記録債務	8,779	7,753
短期借入金	6,344	5,100
1年内返済予定の長期借入金	7,796	2,199
前受金	1,482	1,597
その他	5,473	6,186
固定負債	7,244	9,585
長期借入金	4,721	7,237
その他	2,523	2,347
負債合計	43,963	38,416
【純資産の部】		
株主資本	41,752	42,231
資本金	2,633	2,633
資本剰余金	14,300	14,313
利益剰余金	27,313	27,762
自己株式	△ 2,495	△ 2,478
その他の包括利益累計額	4,355	4,235
新株予約権	97	92
非支配株主持分	405	432
純資産合計	46,610	46,993
負債純資産合計	90,573	85,409

ポイント

1 受取手形及び売掛金、電子記録債権(売上債権)

受取手形及び売掛金、電子記録債権は、売上高の減少および売上債権の回収が進んだことにより前期比58億88百万円の減少となりました。

2 建設仮勘定

建設仮勘定は、新本社工場建設により前期比17億78百万円の増加となりました。

3 支払手形及び買掛金、電子記録債務(仕入債務)

支払手形及び買掛金、電子記録債務は、生産減少により前期比18億73百万円の減少となりました。

4 有利子負債

有利子負債は、売上債権の回収が進み、かつ、資金需要が落ち着いたことにより前期比43億25百万円の減少となりました。

■連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	77,302	65,612
売上原価	61,733	53,946
売上総利益	15,569	11,665
販売費及び一般管理費	9,320	8,928
営業利益	6,249	2,736
営業外収益	415	278
営業外費用	357	154
経常利益	6,306	2,861
特別利益	55	34
特別損失	146	14
税金等調整前当期純利益	6,215	2,881
法人税等	1,568	1,105
当期純利益	4,647	1,776
非支配株主に帰属する 当期純利益	9	31
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,637	1,744

■連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	10,579	8,094
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 1,994	△ 2,629
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 6,002	△ 5,719
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 168	△ 110
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	2,414	△ 365
現金及び現金同等物の 期首残高	8,923	11,337
現金及び現金同等物の 期末残高	11,337	10,972

ポイント

5 売上高

売上高は、中国をはじめとする世界的な景気減速や、米中貿易摩擦を背景とした顧客の設備投資意欲の抑制など、受注環境の変動により、前期比15.1%減の656億12百万円となりました。

6 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の減少に伴い、営業利益は前期比56.2%減の27億36百万円、経常利益は前期比54.6%減の28億61百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比62.4%減の17億44百万円となりました。

7 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により増加した資金は、80億94百万円になりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益28億81百万円に対して、売上高の減少および売上債権の回収が進んだことによる売上債権の減少56億79百万円、生産減少による仕入債務の減少15億3百万円、法人税等の支払額9億88百万円などによります。

8 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により減少した資金は、26億29百万円になりました。主な要因は、新本社工場建設に伴う有形固定資産の取得による支出25億80百万円などによります。

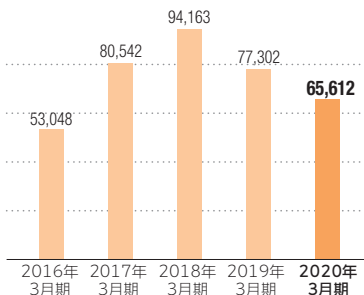
9 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により減少した資金は、57億19百万円になりました。主な要因は、売上債権の回収が進み、かつ、資金需要が落ち着いたことによる短期借入金の減少12億27百万円、長期借入れによる収入48億円、長期借入金の返済による支出78億80百万円などによります。

財務ハイライト

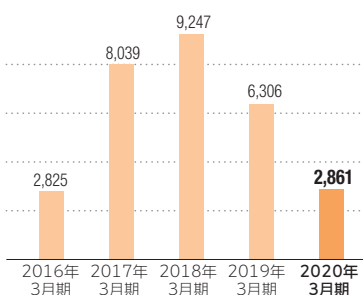
売上高

(百万円)



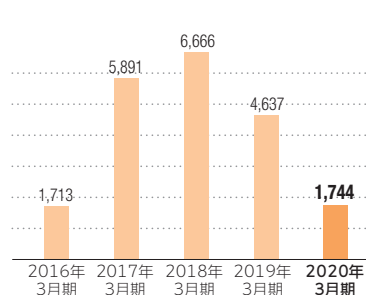
経常利益

(百万円)



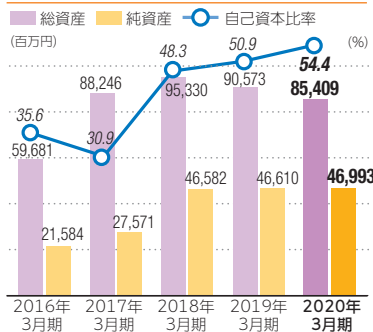
親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



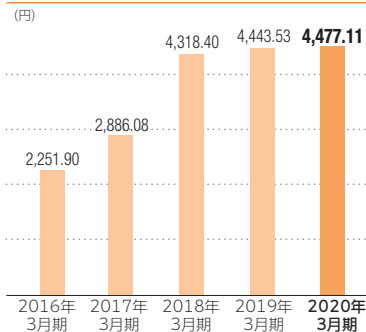
総資産／純資産

(百万円)



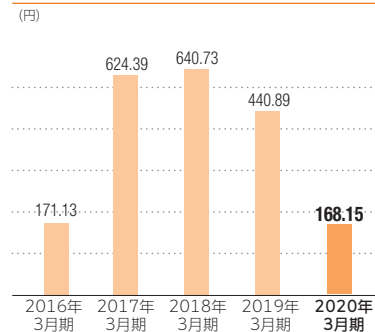
1株当たり純資産額

(円)



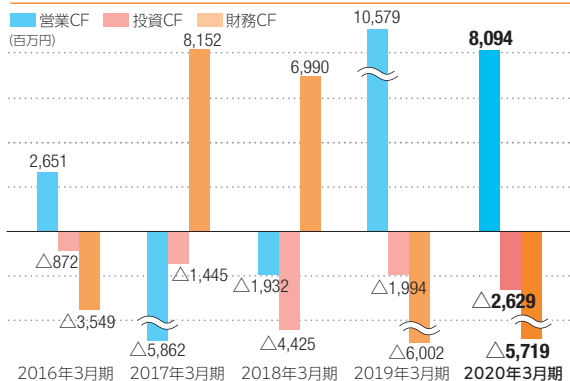
1株当たり当期純利益

(円)



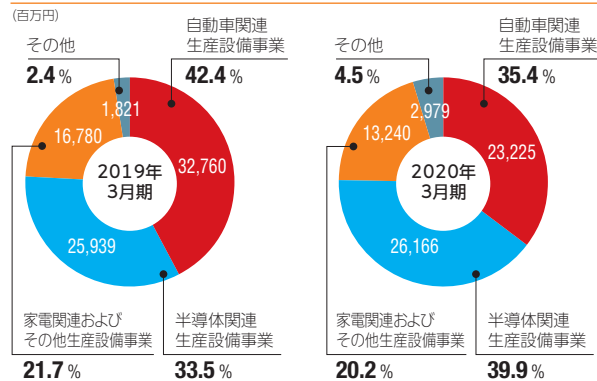
キャッシュ・フロー

(百万円)



事業別売上高および比率

(百万円)



会社概要および株式の状況

会社概要 (2020年6月25日現在)

会社名	平田機工株式会社
会社設立	1951年12月29日
資本金	2,633百万円
従業員数	2,201名 (連結 2020年3月31日現在)
事業内容	各種生産システム、産業用ロボットおよび物流関連機器等の製造ならびに販売
本社所在地	熊本県熊本市北区植木町一木111番地

役員	代表取締役社長	平田 雄一郎
	取締役専務執行役員	本郷 仁基
	取締役専務執行役員	黒田 健治
	社外取締役	雀部 博之
	社外取締役	鳴沢 隆
	常勤監査役	元田 直邦
	監査役	鳥巢 宣明
	監査役	今村 憲
	監査役	遠藤 恭彦
	常務執行役員CTO	平賀 靖英
	常務執行役員	平田 正治郎
	常務執行役員	藤本 靖博
	執行役員	谷口 敬隆
	執行役員	前田 繁
	執行役員	小泉 正弘
	執行役員	平川 武則
	執行役員	首藤 道信
	執行役員	西村 茂春
	執行役員	戸田 和博

株式の状況 (2020年3月31日現在)

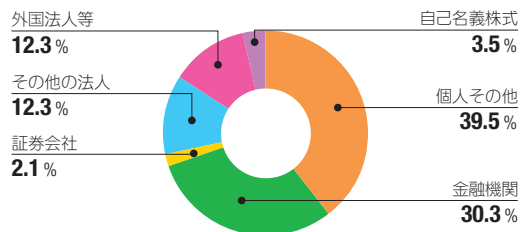
発行可能株式総数	37,000,000株
発行済株式総数	10,756,090株
株主数	8,756名

大株主の状況

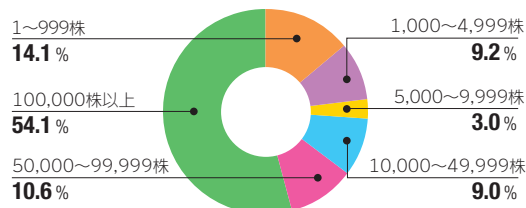
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
SMC株式会社	500,000	4.82
株式会社肥後銀行	456,000	4.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	451,000	4.35
みずほ信託銀行株式会社有価証券管理信託0700053	400,000	3.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	398,700	3.84
平田機工社員持株会	301,010	2.90
平田 雄一郎	291,600	2.81
ニッコンホールディングス株式会社	272,400	2.62
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	220,900	2.13
山洋電気株式会社	192,900	1.86

上記のほか、当社が保有している自己株式が377,211株あります。
持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株主メモおよび株主優待制度

株主メモ(株式のご案内)

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
配当金受領日 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 ※期末配当のみとさせていただきます。	同事務取扱場所	〈郵便物送付先〉 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話照会先〉 0120-782-031(フリーダイヤル)
定時株主総会	毎年6月開催	公告方法	当社のホームページに掲載します。ただし、 事故その他やむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に掲載して公告します。
単元株式数	100株		
証券コード	6258		
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部		

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

株主優待制度

【対象株主】 毎年、3月31日現在の当社株主名簿に記録された当社株式1単元(100株)以上を保有する株主様
【優待内容】

クオ・カードもしくは寄付

以下①②のいずれかを選択していただけます。

- ①熊本城災害復旧支援金(6円)付きクオ・カード3,000円分
※3,000円分全額使用できます。
- ②熊本城災害復旧支援金として熊本市に3,000円を寄付
※名義は「平田機工株式会社(株主寄付口)」となります。



©2010 熊本県くまモン#K1761

【贈呈時期】 クオ・カードご希望の株主様への発送は、8月上旬を予定

平田機工株式会社

本 社

〒861-0198 熊本県熊本市北区植木町一木111番地
TEL:096-272-0555 FAX:096-272-7901

- IR情報に関するお問い合わせ先
平田機工株式会社
管理本部 IR・広報部

TEL 096-272-5558
FAX 096-272-3618

E-mail hirata_info@hirata.co.jp